

内山小学校と大和小学校の統合について **おたより詳報**（令和 5 年 9 月）

- ・説明会の会場やアンケートでいただいたご意見・ご質問と教育委員会の考え方をまとめたものです。
- ・内容について、趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、原文を一部要約し、また分割して掲載しておりますのでご了承ください。

1 統合の方針について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	・統合を決定したうえで説明会を開催しているのですか。	本説明会は、教育委員会で作成しました統合案を地域や保護者の皆様にご説明して理解していただくとともに、様々なご意見やご要望等をお伺いする趣旨で開催しております。説明会終了後も必要な協議等がございましたら協議をさせていただき、その後教育委員会に統合についての議案を提出し、可決されますと統合が決定されます。
2	・統合を白紙に戻すようなことはできるのですか。	小学校では、子どもたちが集団の中で多様な考え方にふれ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することが大切です。その教育効果を高めるためには、クラス替えができる学校規模が必要となります。 教育委員会では適正な学校規模を確保し、子どもたちにとって充実した教育環境を整えるために、ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画を策定し、小規模校につきましては統合により適正な学校規模の確保を図ることを取り組みの方法として示しております。子どもたちの教育環境のために統合の取り組みにつきましては、進めてまいりたいと考えております。 そのうえで、子どもたちの通学上の安全といった新しい学校づくりに伴う様々な課題につきまして、地域や保護者の方々からご意見やお知恵をいただきながら進めてまいりたいと考えております。
3	・名古屋市内で小規模校は内山小学校だけではないのになぜ統合校として選ばれたのですか。	地域や保護者の方々や学校へヒアリングや調査等を行い、統合案が固まってまいりました地区から順次統合に向けた取り組みを進めておりますので、他の地区におきましても並行して取り組みを進めている状況です。

4	・小規模校のデメリットを受け続けている内山小学校の子どもたちについて、統合するまでのケアはどうされるのでしょうか。統合するまで何もしないのでしょうか。	異学年交流を積極的に行ったり、学校行事で活躍する場を多く設定したりするなど、子どもたちの成長のために現在の環境でもできる工夫を続けてまいります。また、これまでの統合校の例として、統合前から統合校の子ども同士の間人間関係を構築したり、統合への機運を高めたりするために交流活動を行っています。交流活動では、合同で遠足や校外学習に出かけたり、中津川野外学習において合同でキャンプファイヤーを行ったりできるようにするなど、統合前から適正な人数での活動のよさが体験できるように支援を行っております。
5	・今後のスケジュールはいつ確定するのでしょうか。 ・できればもっと細かいスケジュールを知りたいです。	令和8年度の統合校開校を想定して進めておりますが、スケジュールにつきましては、統合決定により確定します。現在、令和5年度中の統合決定を目標に取り組みを進めております。
6	・小規模校よりも統合により子どもたちの学ぶ機会が増え、良い影響があると思います。 ・子どもたちのことを最優先に考えて取り組んでほしいと思います。 ・子どもたちの意見も聞けるといいと思います。	統合決定後に、新しい学校づくりを進めるなかで、子どもたちの意見を聞く機会もつくりながら、統合校が子どもたちにとってよりよい教育環境になるよう進めていきたいと考えております。

2 統合の場所について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	・統合の相手校は内山学区の中心から一番近い小学校を選ぶべきではないのでしょうか。 - また、新校舎を大和小学校の場所に建てるのはなぜでしょうか。内山小学校の場所にすることはできないのですか。	内山小学校も大和小学校も学区の北半分に多くの子どもたちが居住しておりますので、子どもたちの居住分布を中心に、学校間の距離、学校の敷地面積等も考慮し、統合の相手校、統合校の場所を大和小学校としております。

3 通学区域・進学先について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	・統合を検討するうえで、学区の境界線を仕切り直すということは検討されなかったのでしょうか。	統合案を検討する際に学区の境界線を仕切り直す案も検討しましたが、近隣の小学校も小規模化が進んでおり学区の境界線を仕切り直すことのみでは小規模化の解消を図ることが難しいこと、また学校間の距離や子どもたちの通学上の安全面、負担面、これまでの地域活動や子どもたちの友人関係等を総合的に考慮し、細かい単位での再編ではなく、内山小学校と大和小学校のまとまった単位として2校の統合とする案としました。
2	・今住んでいる場所からは、他の学校の方が近いのですが、近い学校へ通えるように学区の再編や選択制など柔軟な対応はできないのでしょうか。	距離として他の学校が近い世帯があることは承知しておりますが、地域活動と子どもの活動や学校との関わり等を考えますと、まとまった形で通学区域を設定することが必要と考えております。また、統合校の通学距離は、概ね1.5km以内に収まっておりますので、実際に支障なく通える範囲と考えております。
3	・広小路通を境にして通学区域の変更をするのではなく、錦通を境にして通学区域を変更することを考えてはどうでしょうか。	広小路通、錦通、桜通の大通り3本があるなかで、交通の往来や繁華街の状況などから、広小路通で通学区域を分けることが通学上の安全面、負担面から最も妥当と考えております。
4	・広小路通から南に居住する子どもたちは、これまで内山小学校と一緒に通っていた子どもたちと統合校開校時に違う学校に通うことになってしまうのですが、子どもたちへの配慮はあるのでしょうか。	広小路通から南に居住する子どもたちにできる限り負担がかからないような配慮として、引き続き統合校へ通学できる措置や統合校の開校に先立ち千種小学校へ通学できる措置を考えております。 (内山小学校と大和小学校の統合に向けた説明会資料3-2に具体例を掲載しております)
5	・広小路通から南に居住する子どもたちについて、統合校開校後も引き続き統合校へ通学することを選択した場合、分団はどうなるのでしょうか。	分団につきましては、統合決定後に統合校への通学と千種小学校への通学のご希望を確認させていただき、具体的な人数が分かりましたら学校と相談しながら安全に分団登校できるよう進めたいと考えております。

6	・ 広小路通から南に居住する子どもたちは、統合校開校後も引き続き統合校へ通学することを選択した場合、他の子どもたちと同じ振甫中学校に進学することはできるのでしょうか。	統合校開校後においても引き続き統合校に通学する措置は経過措置のため、進学先の中学校は原則通り千種小学校の進学先であります今池中学校へ進学していただくことを考えております。
7	・ 今池一丁目のなかには千石小学校の方が千種小学校より近い子どもがいますが、なぜ千種小学校に行くのでしょうか。千石小学校と千種小学校とを選択できるような柔軟な対応をした方がよいのではないのでしょうか。	今池一丁目に居住する子どもたちの人数がそれほど多くない状況のなかで安全面からある程度まとまった人数で分団を作る必要があること、また、今池一丁目のなかでも東側に住んでいる子どもたちが多いという居住状況を踏まえ、全員千種小学校へ通学していただくことを考えております。
8	・ 統合により振甫中学校の生徒数が増えますが、校舎の増築など、生徒数が増えることを想定した計画はされていますか。	統合により振甫中学校の生徒数が増えた場合においても、推計上現在の振甫中学校の教室数で対応できる見込みですので、現在のところ特に校舎の増築や仮設校舎を設置する必要はないと考えております。
9	・ 将来的に今池中学校が小規模校になり、今池中学校の廃止や統合が起こるのではないのでしょうか。	推計上、統合校の開校後においても、1 学年当たり 2 クラス以上は保てる規模になると見込んでおりますので、現在のところ単学級になり小規模校化し、廃止をすることはないと考えております。
10	・ 令和 8 年度の統合校開校時に 6 年生の場合、振甫中学校への進学になるということによいでしょうか。また想定するスケジュールが遅れた場合は今池中学校への進学になるのでしょうか。	令和 8 年度の統合校開校時に 6 年生であれば、統合校の卒業生となり、令和 9 年度に振甫中学校へ進学することになります。このスケジュールが遅れた場合は、統合校開校前の内山小学校での卒業になりますので、従来通り今池中学校への進学になります。
11	・ 今池中学校に在学中に小学校が統合された場合は、途中から振甫中学校へ移ることになるのでしょうか。	在学中の今池中学校から途中で振甫中学校へ移ることは考えておりません。あくまでも振甫中学校に進学するのは統合校を卒業した子どもたちになります。

4 跡地の活用について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	・内山小学校は大和小学校に比べて売却するのに立地条件がよいため内山小学校の場所が学校跡地になるように統合を進めているという噂を聞きましたが本当でしょうか。	学校跡地につきましては、統合の決定後に、防災拠点等、地域に必要な機能に配慮しながら、全市的な視点で決定していくことになりますので、具体的に決まっていることはありません。
2	・内山学区には災害の際に避難できる場所が少なく、また、内山コミュニティセンターは避難所や学区の行事に利用されているので残していただきたいです。 ・跡地は福祉や子どもたちのためになるような活用をお願いしたいです。	防災機能や地域の活動拠点は、大変重要な機能と認識しておりますので、教育委員会としましては、学校跡地についての全市的な検討の中で地域のご要望が配慮されるよう進めてまいりたいと考えております。 なお、これまでの小学校の統合のいずれの案件におきましても、学校跡地は指定避難所に指定されております。
3	・大和小学校の場所で統合校を建設している間は、指定避難所の機能は内山小学校の場所に移るのでしょうか。	建設工事期間中における避難所の機能をどのようにするかにつきましては、区役所や防災危機管理局と協議をし、全市的な視点で検討させていただきたいと考えております。

5 トワイライトスクールについて

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	・トワイライトスクールは統合に伴いどうなるのでしょうか。	統合校のトワイライトスクールとして、新しく設置させていただく見込みとなっております。
2	・この統合をきっかけに、トワイライトルームへの移行を要望すれば検討していただけるのでしょうか。	事業の所管局であります子ども青少年局へご意見をお伝えしてまいります。

6 通学の安全・通学距離について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	・統合校の通学の安全については、誰がどのように話し合っているのでしょうか。また地域にその情報は伝わるのでしょうか。	通学の安全につきましては、統合決定後、新しい学校づくりの協議のなかで、新しい通学路や通学の安全対策を検討していくことになります。その際には、地域や保護者や学校現場の代表の方に参加していただく懇談会をつくり協議を進めてまいります。 安全対策につきましても関係機関や関係部署と相談しながら必要な措置を検討していきたいと考えております。 また懇談会の内容につきましては、例えばおたよりでお知らせするなど、状況をお知らせしながら進めてまいります。
2	・統合校や新校舎建設期間中の通学路の安全が心配です。しっかりとした対策をしてほしいのですが、これまでに統合された学校の例ではどんな配慮がありましたか。	これまでに統合された学校の例では、ガードパイプや横断歩道の設置、信号の時間調節等、様々な対策を関係機関や関係部署と協力しながら行っております。
3	・ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画に、通学距離は徒歩を基本とし、小学校は概ね 2km と記載されています。子どもたちにとっては 2km は通学するには大変な距離と思いますが、なぜ 2km なのでしょう。	通学距離について条例や規則で定まっているものはございませんが、国の手引きでは、小学校は 4km、中学校は 6km との目安が示されております。 一方、名古屋市では、2 年に 1 回程度、各学校の通学距離について調査をしており、各学校の通学距離は概ね 2km 圏内に収まっている状況です。このような実情もふまえて、小学校では実際に支障なく通える範囲として通学距離 2km 以内を目安に統合校の検討をしております。 なお、今回の統合校の通学距離は、概ね 1.5km 以内に収まっておりますので、実際に支障なく通える範囲と考えております。

7 新校舎の建設、建設工事中の学校運営について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	・統合により児童数が増えますが、新校舎建設期間中は現内山小学校の教室で足りるのでしょうか。不足するならば教室の配置はどのように対応されますか。	推計上、現内山小学校では若干教室数が不足することが見込まれますので、不足する教室数を補うために、仮設校舎を造る予定です。なお、仮設校舎に不足する普通教室を配置するのか、不足する教室は特別教室等を転用し、仮設校舎に特別教室を配置するのかといった具体的な検討は、今後学校と相談しながら検討を進めてまいります。
2	・校庭に仮設校舎を造ると体育の授業や運動会や各種行事に支障は出ないのでしょうか。	仮設校舎はそれほど大規模なものにならないと想定しておりますので、運動場のなかで一番影響の少ない場所に建設することで、体育や運動会や行事に極力支障のないようにしていきたいと考えております。
3	・新校舎建設中に内山小学校の場所で過ごす期間の環境について、内山小学校はトイレも和式と聞いており、また仮設校舎の暑さ対策も心配です。	内山小学校では今年度トイレの洋式化を進めております。また仮設校舎につきましては、必要な教室等には冷房を設置する方向で考えております。
4	・統合校の体育館（現大和小学校の体育館）の改修工事の内容について具体的に教えてください。	外壁や防水等の改修とともに空調整備もあわせて実施していきたいと考えております。

8 新しい学校づくりについて

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	・統合校の校名や校章等の検討では、住民へのアンケート等を行うのでしょうか。	新しい学校づくりの懇談会を立ち上げて協議をしていきますので、その中で相談させていただきながら進めてまいりたいと考えております。 なお、これまでの統合の先行事例では、保護者、児童や地域から公募したアイデアの中から決定した事例がございます。
2	・統合校が開校する際には先生方も異動してしまうのでしょうか。	統合前の学校に配属されていた教員をバランスよく統合校に配置できるよう配慮をしてまいります。

3	・統合することにより、先生の負担に変化はあるのでしょうか。	統合して適正な規模の学校になりますと、教員数が増え、教員一人あたりの校務や行事に関わる負担が軽減されます。また、教員一人一人の負担が軽減されますと、子どもと向き合う時間をより多く生み出すことができます。
4	・統合校の教育の質や安全面に配慮して取り組みを進めてください。 ・内山小学校で行われている太鼓の授業はどうなりますか。	統合校における教育内容につきましては、両校の特色ある教育活動を活かしながら、子どもたちにとってより良い教育環境になるよう検討してまいります。

9 情報提供について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	・説明会のフィードバックはするのでしょうか。 ・定期的に情報を知らせてほしいです。	説明会等でいただきましたご意見やご要望に対する教育委員会の考えや取り組み状況につきましては、おたよりやホームページで情報提供をさせていただきます。

10 推計について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	・今池駅周辺での大規模なマンション建設等があり、児童数が増えると思いますが、児童数の見込みには、マンションの建設等の状況をきちんと反映されているのでしょうか。	マンションの建設計画や戸建ての開発行為等につきまして、市の他部署より定期的に情報を入手し推計に反映しております。説明会資料でお示ししている内山学区の推計におきましても、現在建設中の大規模マンション等も見込んだ数字となっております。